

保護者・地域の皆様へのお願い

— 平成27年度 全国学力・学習状況調査より —

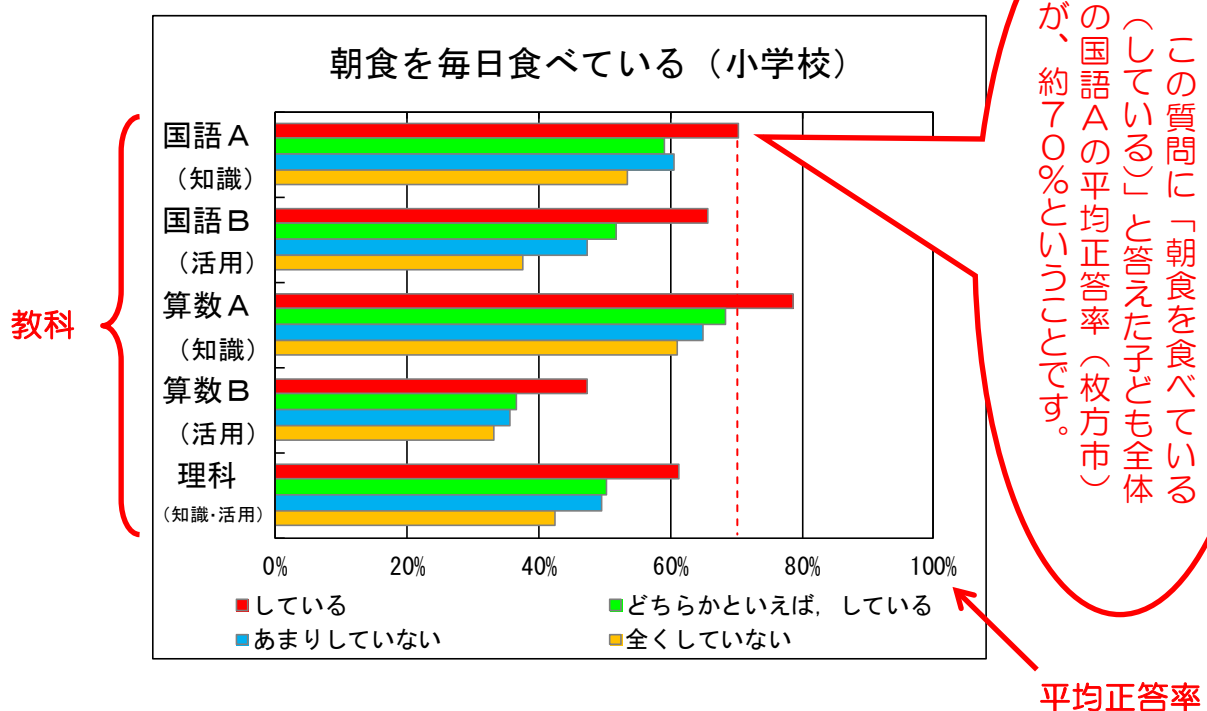
枚方市教育委員会

枚方市教育委員会では、平成27年4月21日（火）に市内小学校6年生、中学校3年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果について、学力調査と子どもたちへの質問紙調査の関連を分析しました。

その結果から、学力と生活・学習習慣との関連が高い項目について「家庭への7つのお願い」という形でまとめました。ご家庭により状況は様々であると思いますが、ご家庭の事情に合わせて、できることから始めてください。

また、地域の方々にも、学校の行事やオープンスクールへの参観、子どもたちへの学習支援、読書支援、学校の環境整備等、地域力による学校支援をお願いいたします。

グラフの見方



家庭への7つのお願い

生活習慣・学習習慣の確立・定着を見守ってください。

7項目についての状況は、ご家庭によって様々であると思います。できることから始めてください。

1. 朝食をきちんととる。
2. テレビの視聴、ゲーム・インターネットの時間や携帯電話・スマートフォンの利用はルールを決める。
3. 「起床」「就寝」「勉強」の時間を決める。
4. 家で、自分で計画を立てて勉強をする。
5. 家で、宿題・学校の授業の復習をする。
6. 読書に親しむ。
7. がんばりをしっかりほめる。



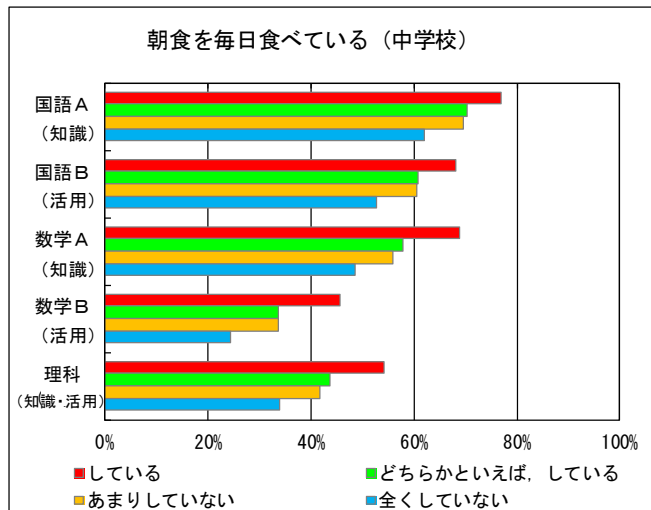
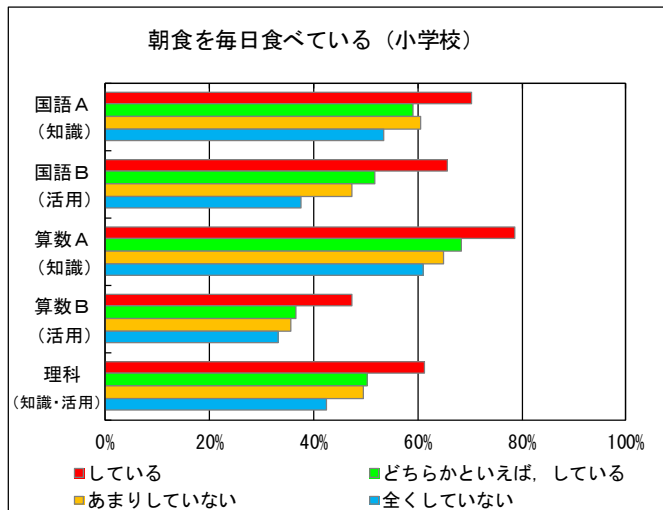
枚方市 ひこぼくん

地域へのお願い

- ・学校の行事やオープンスクールへの参観をお願いします。
- ・地域力による学校支援（学習支援、読書支援、環境整備など）にご協力ください。

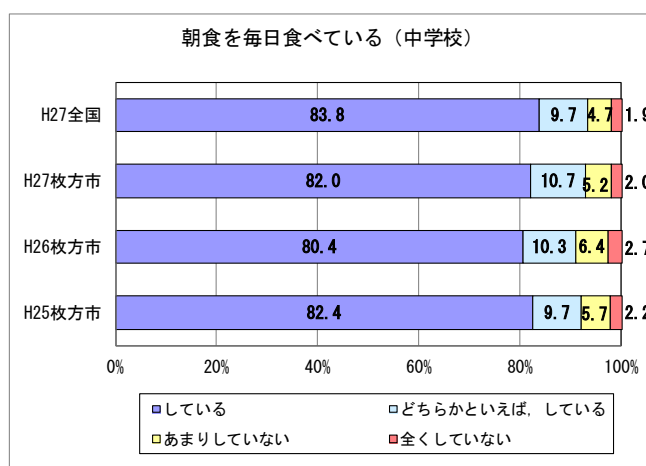
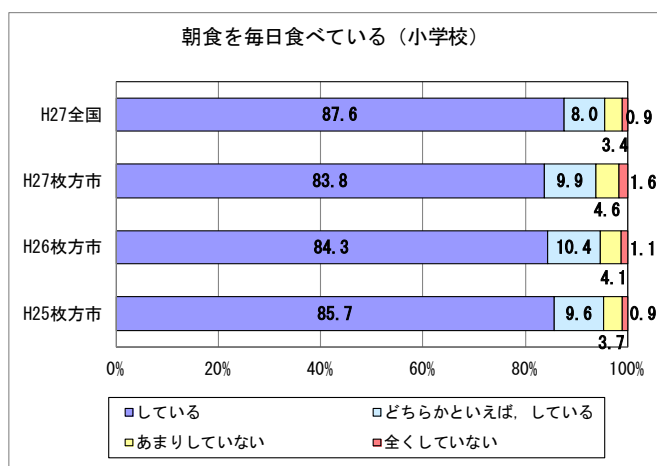
1. 朝食をきちんととる。

朝食を毎日食べる習慣がある子どもは、正答率が高い傾向にありました。



朝食を毎日食べている子どもの割合が減少しています。

小学校1クラス35人あたりでは、約2人、中学校1クラス40人あたりでは、約3人の子どもが、朝食を全く食べていない、もしくは、どちらかといえば食べていないと回答しています。

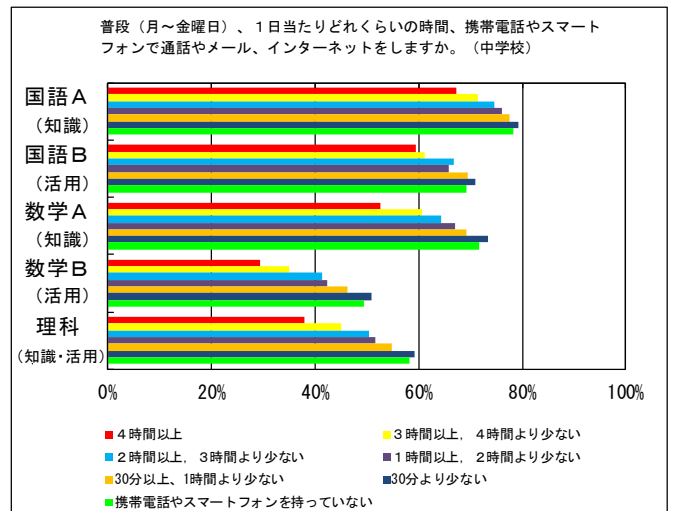
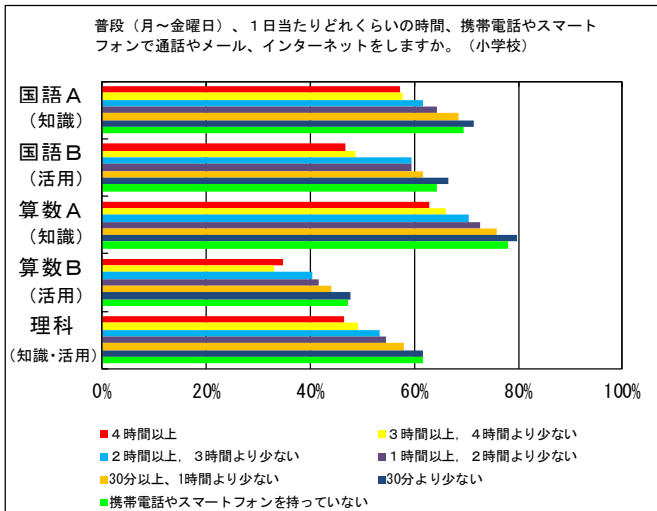


毎日きちんと朝食をとらせて、学校でしっかり活動できる状態をつくってあげることが大切です。

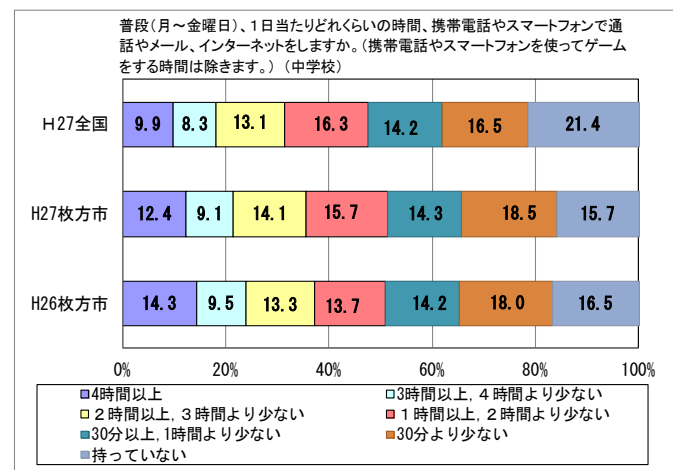
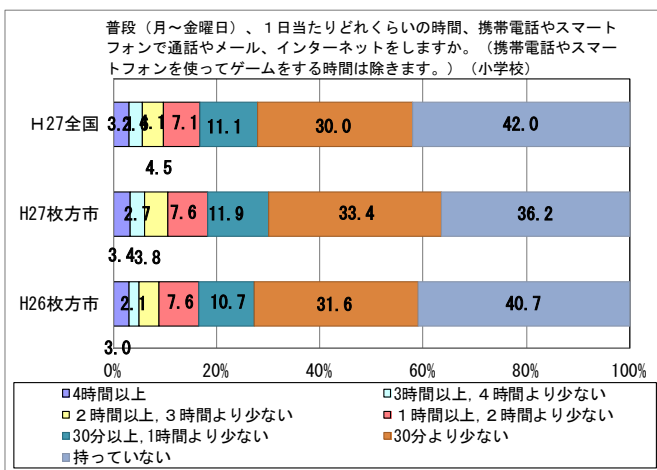


2. テレビの視聴、ゲーム・インターネットの時間や 携帯電話・スマートフォンの利用はルールを決める。

携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間については、30分までと回答している子どもが、正答率が高い傾向にありました。



携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを1時間以上している子どもが、全国平均と比較すると高いです。

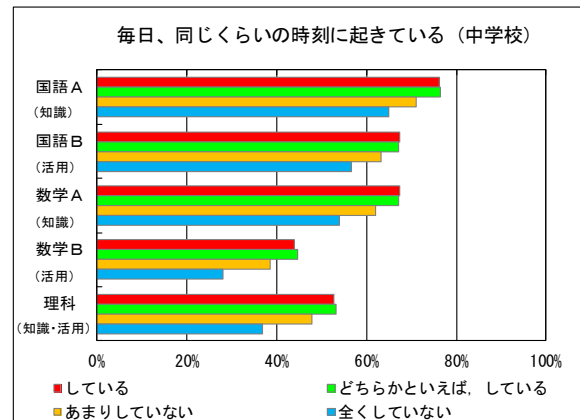
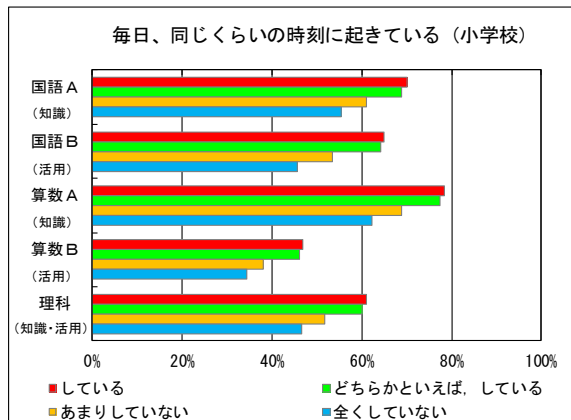
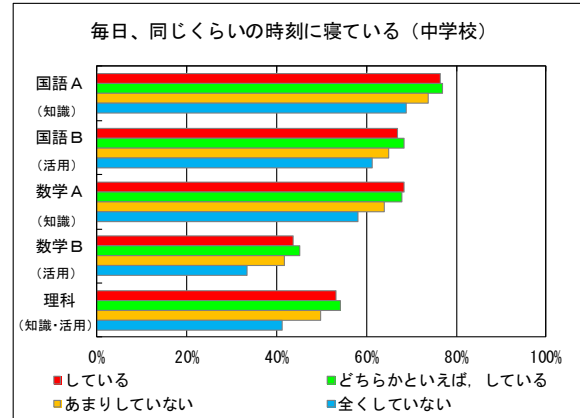
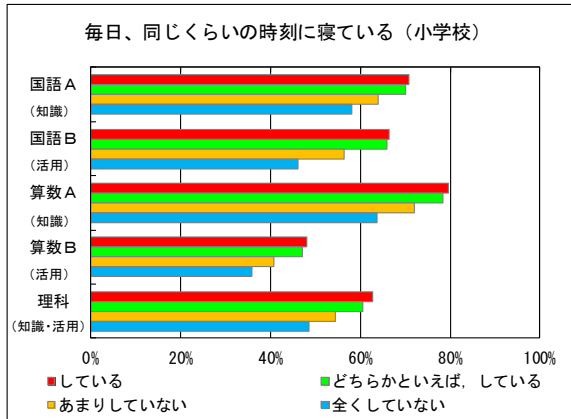


メール、インターネットをする時間や、携帯電話・スマートフォンの利用について、家のルールを守らせてください。

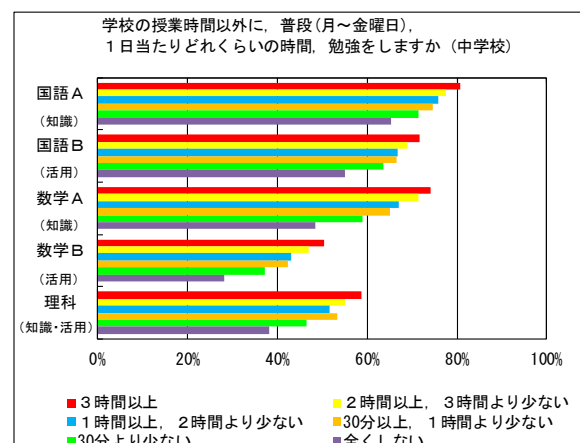
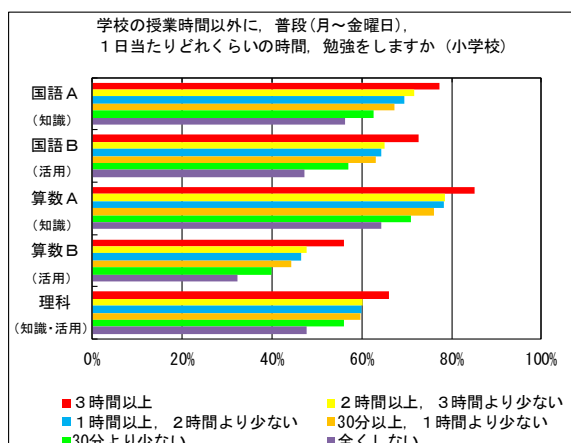


3. 「起床」「就寝」「勉強」の時間を決める。

毎日、同じくらいの時刻に寝ている・起きている子どもは、正答率が高い傾向にありました。



家での勉強時間が長い子どもは、正答率が高い傾向にありました。

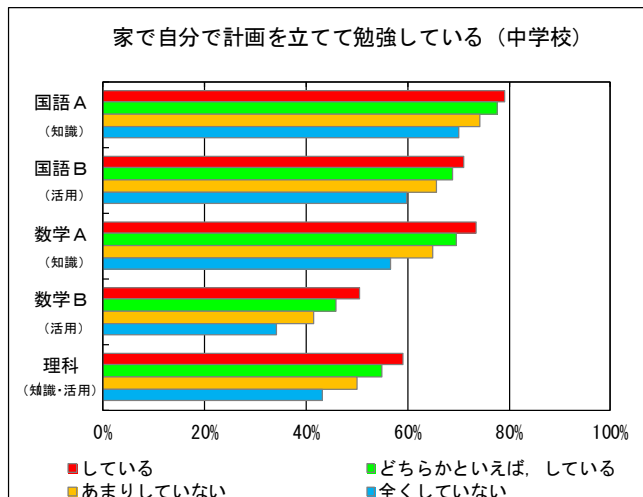
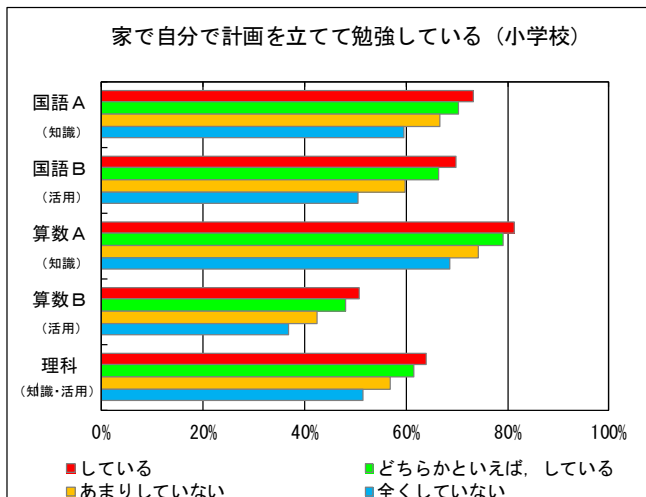


- 十分な睡眠による規則正しい生活リズムは、学習へのやる気につながります。規則正しい生活習慣を身につけてください。
- 家庭では、規則正しい生活リズムの中で、毎日決まった時間に学習する習慣をつけることが大切です。

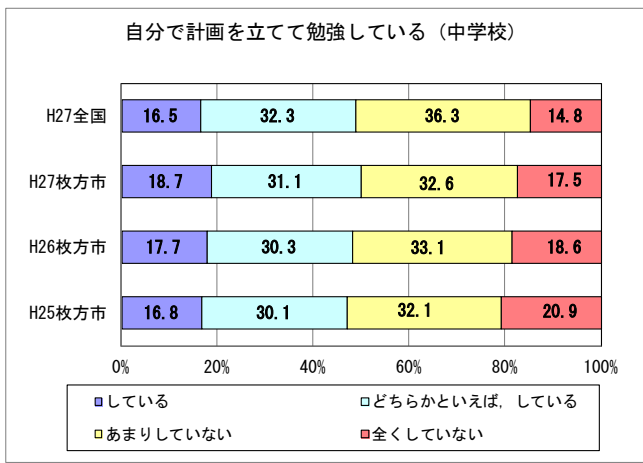
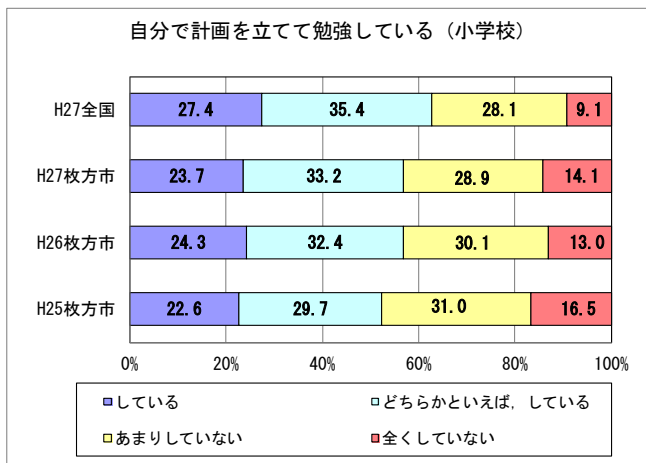


4. 家で、自分で計画を立てて勉強をする。

家で勉強するとき、自分で計画を立てる子どもたちは、正答率が高い傾向にありました。



自分で計画を立てて勉強している子どもの割合は増加傾向ですが、4割以上の子どもが、自分で計画を立てて勉強していない、もしくは、どちらかといえば計画を立てて勉強していないと回答しています。

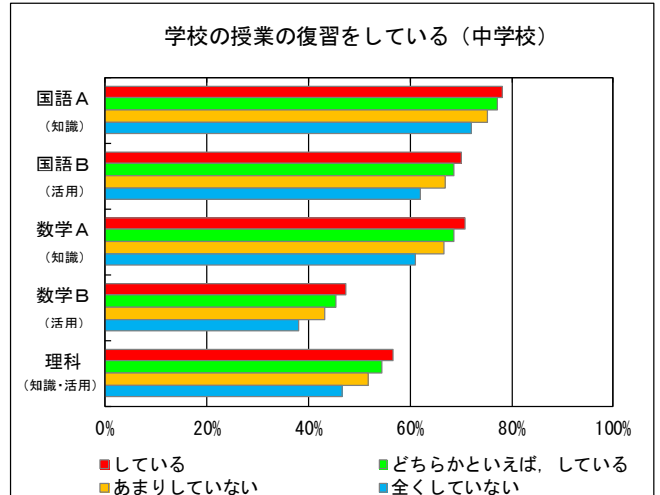
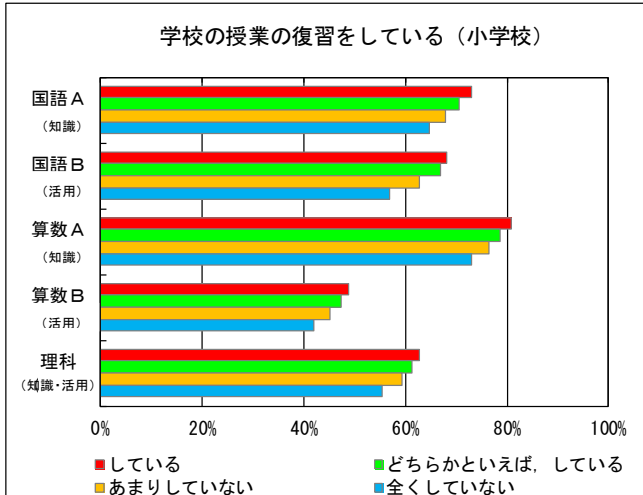


自主的な学習習慣が身につくよう自分で学習計画を立てさせてください。

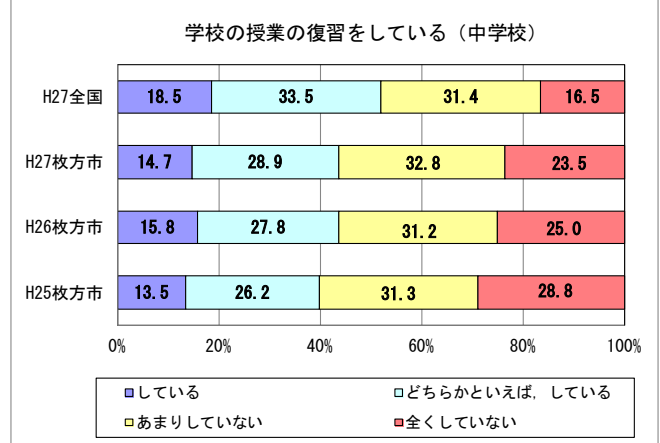
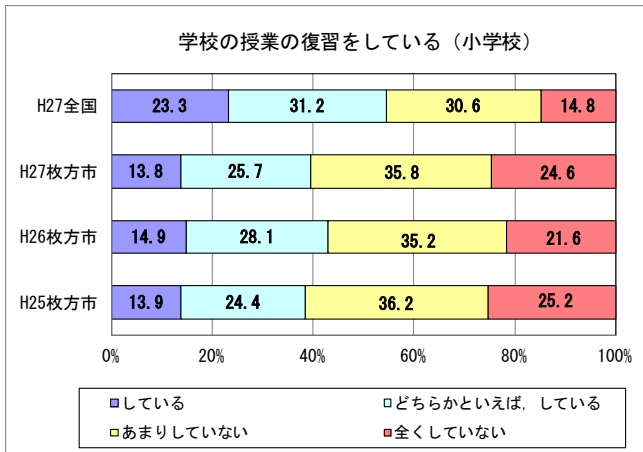


5. 家で、宿題・学校の授業の復習をする。

学校の授業の復習をしている子どもは、正答率が高い傾向にありました。



小学校では、家で授業の復習をしている子どもの割合は低下しています。小中学校ともに、半数以上の子どもが、授業の復習をしていません。

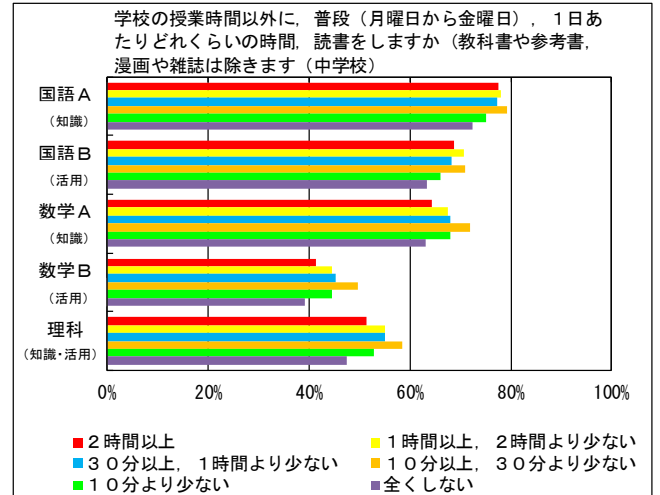
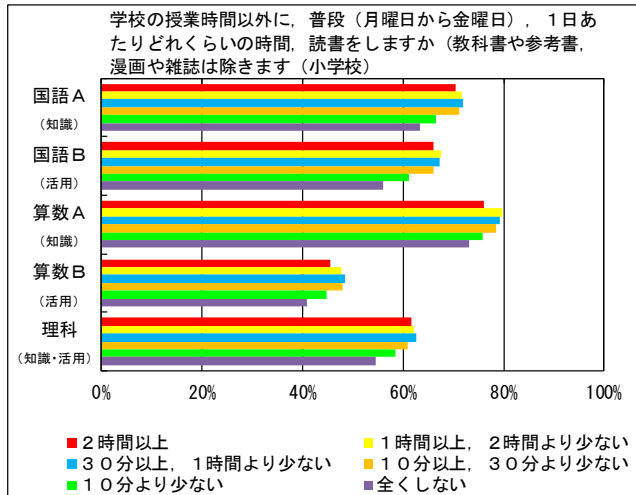


その日に受けた授業を振り返り、さらに、テスト前には、ノートや教科書を見直し、今まで勉強してきたことを、もう一度復習するように取り組ませてください。

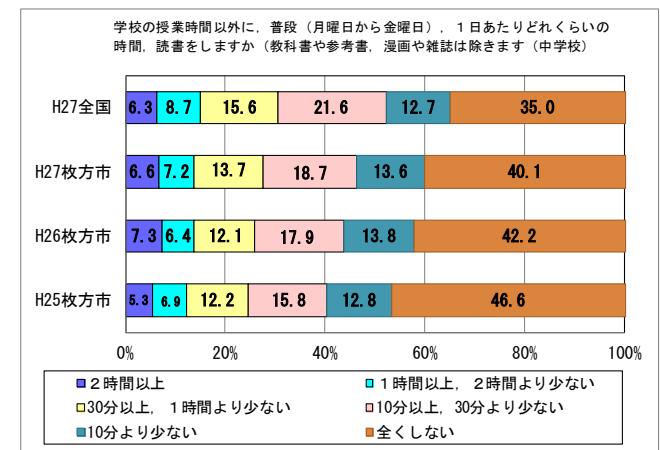
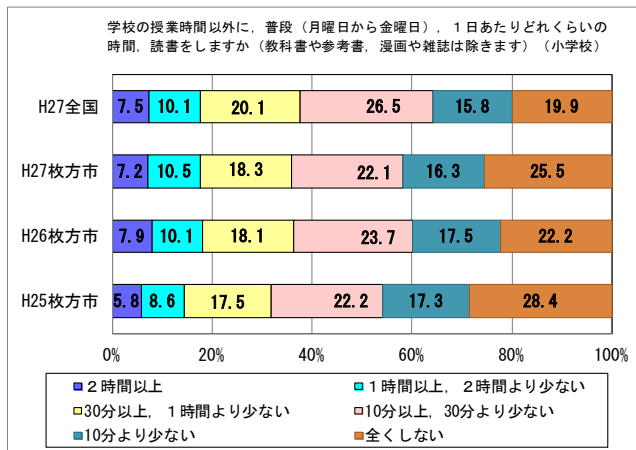


6. 読書に親しむ。

家や図書館で一定の時間、読書をしている子どもは、正答率が高い傾向にありました。



学校の授業時間以外に読書を全くしない子どもが、全国平均と比較して多く、中学校では、4割の子どもが全く読書をしていません。

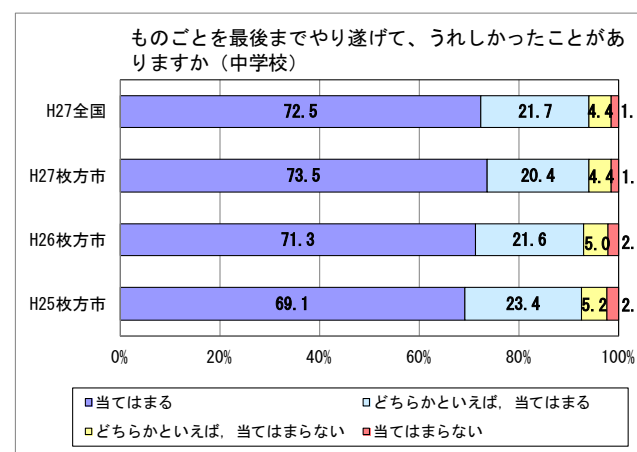
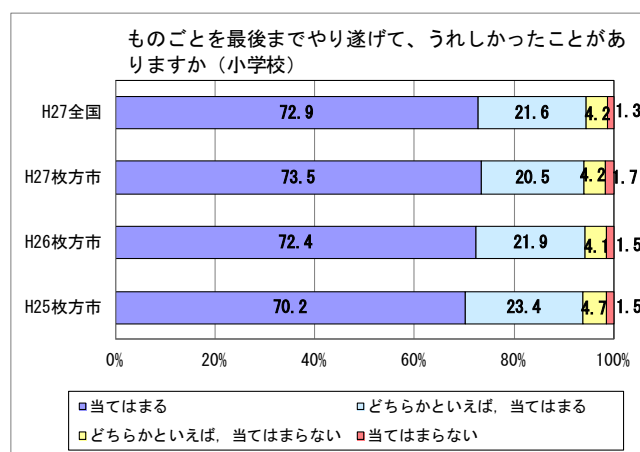
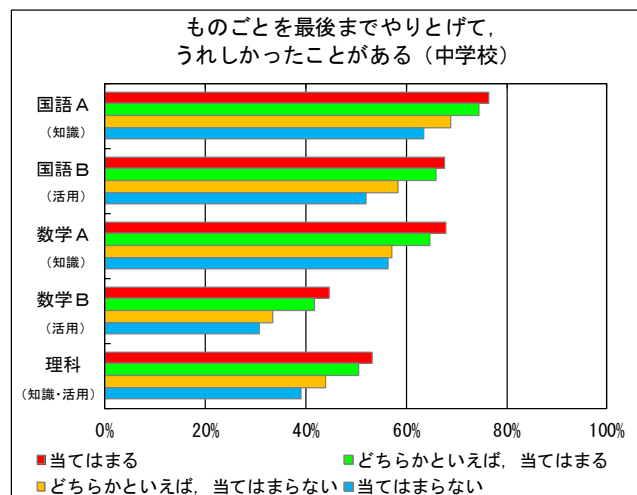
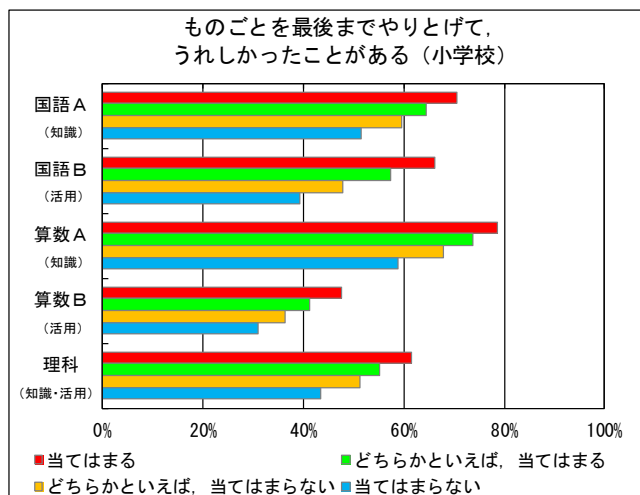


読書は、子どもたちの感性を豊かにし、言葉の獲得にもつながります。図書館に立ち寄ったり、みんなが集まる部屋に図鑑や辞書を置いてあげるなどしてください。



7. がんばりをしっかりほめる。

ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある子どもは、正答率が高い傾向にありました。



- ・ 困難なことを最後までやりきった経験は、自信を深め、次の活動への意欲につながります。
- ・ 最後まで粘り強く取り組ませるとともに、子どものよいところを見つけて、ほめてください。



枚方市教育委員会では、学校と連携して、子どもたちの確かな学力の定着に向けた取り組みを進めてまいります。

市民の皆様も、家庭や地域で、この取り組みにご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。